入院診療計画書

治療方針：□(左　右）乳癌 【手術】乳腺悪性腫瘍手術 （乳房部分切除） Ver.1.1

治療方針：□(左　右）乳癌 【手術】乳腺悪性腫瘍手術 （乳房切除） Ver.1.1

ID:

氏名：　　様

病棟（病室）：　　（　　）

年　月　日

推定される入院期間：　6～9日間

【治療計画】

病名

症状

特別な栄養管理の必要性

有 ・ 無

その他の計画

在宅復帰支援計画 ＊

在宅復帰支援担当者名

総合的な機能評価◇

日付	月　日 ～　月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日 ～　月　日	月　日 ～　月	月　日
経過	入院日～手術前日	手術当日（手術前）・手術中	手術当日（手術後）	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4～5日目	手術後6～7日目	退院日
達成目標	手術野必要性お理解し、不安なく手術を受けられる	→	→	疼痛コントロールが実施できる離床を行うことが出来る	ドレーン管理を自身で行うことが出来る	保清を自身で行える	→	退院に向けセルフケアの自立が出来る	
安静度 リハビリテーション計画 退院	・リハビリテーションの介入が必要な方は、リハビリテーション実施計画書を作成します。 ・自由に病棟内を歩くことが出来ます。	・歩いて手術室へ向かいます。	・手術後は数時間、ベッドで寝たままで安静となります。寝返り、膝立は可能です。 ・状態が落ち着いている場合、看護師と病棟内を歩きます。その後は、自由に病棟内を歩くことが出来ます。 ・痛みが落ち着いていれば、軽いリハビリから始めましょう。	・自由に病棟内を歩くことが出来ます。		・状態が落ち着いていれば、退院ができます。退院時期は医師が判断します。			
栄養管理計画	・栄養状態の確認を行い、必要に応じて栄養管理計画を立案します。 ・夕食まで食事が摂れます。21時以降は食べることが出来ません。	・食べることは出来ません。 ・（　　）時まで飲み物が摂れます。それ以降、飲み物は摂れません。（手術時間により変更することがあります。）	・手術後は数時間、飲んだり出来ません。 ・食事は夕食から摂れます。	・食事が摂れます。					
薬剤管理計画	・持参薬を薬剤師が確認します。 ・内服については医師の指示に従ってください。	・点滴を行います。 ・医師の指示があったお薬を、起床時に飲んでください。	・点滴を行います。点滴終了後、針を抜きます。 ・痛み止めと、抗生剤の処方があります。						
検査内容 及び日程			・手術中に、医師の判断にてリンパ郭清術を追加することがあります。	・朝に採血があります。					
手術処置 内容及び日程		・手術室入室前に、着替えを行います。その際に弾性ストッキングを着用します。	・酸素マスクをつけます。 ・手術中に、傷口近くに管を入れることがあります。 ・歩いた後に、ストッキングが外せます。			・状態に応じて、管を抜きます。			
清潔 （シャワー・入浴など）	・入浴が可能です。	・入浴は出来ません。	→	・状態に合わせ、シャワー浴もしくは下半身浴が可能です。		→	→	→	
排泄	・歩いてトイレに行くことが出来ます。入院中は尿、便回数を聞きます。	→	・手術室にて、尿の管を入れます。看護師と歩いた後に、尿の管を抜きます。その後は、自由にトイレに行くことが出来ます。	・自由にトイレに行くことが出来ます。	→	→	→	→	
患者様及び ご家族への説明	・主治医より手術の説明を行います。 ・麻酔科より麻酔の説明を行います。 ・看護師より入院後の生活、必要な物品について説明します。		・手術終了直前にご家族へ、医師より結果の説明があります。手術中、ご家族は病棟にてお待ちください。			・医師より退院の説明があります。 ・看護師より退院後の生活について説明があります。 ・薬剤師より薬について説明があります。 ・事務よりお会計について説明があります。部屋にてお待ち下さい。			

主治医以外の担当者名	看護師：	薬剤師：	理学療法士：	管理栄養士：

看護計画		主治医	

注1）病名及び治療内容等は、現時点で考えられるものであり、検査・治療を進めていくにしたがって変わり得るものである。
注2）入院期間、表記の日時については現時点の予定である。
注3）＊印は、地域包括ケア病棟入院料（入院医療管理料）を算定する患者にあっては必ず記入すること。
注4）◇印は、総合的な機能評価を行った患者について、評価結果を記載すること。
注5）特別な栄養管理の必要性については、電子カルテ等、様式の変更が直ちにできない場合、その他欄に記載してもよい。